

〔指定管理者制度導入施設〕〔A調書〕

事業評価調書〔途中評価〕（令和元年度）

1. 施設の名称等

施設名称	田平公園 平戸公園	事業所管	土木部	道路維持課
所在地	平戸市岩ノ上町、平戸市田平町	課（室）長名	馬場幸治	

総合計画上の位置づけ	基本戦略	8	「地域発の地域づくり」を進める
	施策	(5)	スポーツによる地域の活力の創出
	事業群	③	スポーツ・レクリエーション活動を増進する都市公園の整備

2. 施設の概要

設置年月日	昭和52年4月1日(平戸公園) 昭和54年4月1日(田平公園)						
設置法令等	都市公園法第2条の2(昭和31年4月20日)						
設置目的	都市環境の改善、都市の防災性の向上、生物多様性の確保、レクリエーションや交流の場として公共の福祉に寄与する。						
利用対象者等	開園日：常時 駐車場開場時間：8時30分～22時00分 利用対象者：県民等						
施設内容	平戸公園 面積(開設面積)144,000㎡ 建物(展望所)199.1㎡ 駐車場(2箇所93台) ふれあい広場、運動広場、展望広場、花園広場、海浜広場、児童遊戯コーナー、展望台 田平公園 面積(開設面積)199,259㎡ 建物(休憩所)471.36㎡ 駐車場(5箇所358台) 運動広場、テニスコート、ゲートボール場、子供遊戯広場、花のステージ、展望台、自由広場						
施設の利用料金体系	平戸公園 有料公園施設なし。入場、駐車場の利用については無料。 田平公園 有料公園施設は指定管理者が定める利用料金による。入場、駐車場の利用については無料。 運動広場、テニスコートは共に専用利用のみ、時間単位で設定。また、一般と高校生以下、平日・休日 で区分して料金設定(時間単位：200円～650円)。照明料金は別料金。						
類似施設の設置状況		県立西海橋公園	県立総合運動公園	県立平戸公園	県立田平公園	県立百花台公園	
	H30年度末供用面積	364,972㎡	318,428㎡	144,000㎡	199,259㎡	424,000㎡	
	H30年度年間利用者数	468,998人	1,173,488人	189,049人	221,104人	458,031人	
	指定管理者制度導入	H18.4.1	H18.4.1	H18.4.1	H18.4.1	H18.4.1	
	H30年度利用料金収入	3,213千円	95,513千円	2,060千円		2,581千円	
	H30年度指定管理料	32,401千円	104,764千円	38,537千円		29,491千円	
県 予 算	区 分 (単位：千円)		平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (計画)
	財源	国庫	0	0	0	0	0
		その他(使用料等)	10,567	3,951	3,322	2,872	2,100
		一般財源	35,689	34,619	36,215	35,665	35,494
	事業費<A>		46,256	38,570	39,537	38,537	37,594
	内訳	管理運営負担金	38,571	38,570	39,537	38,537	37,594
		その他(物品費等)	7,685	0	0	0	0
		人件費	805	804	804	797	797
合計<C=A+B>		47,061	39,374	40,341	39,334	38,391	
単位あたりコスト		12	10	10	10	10	
(説明)：「当事業における平戸公園・田平公園利用者100人あたりの費用」 = C ÷ (平戸公園・田平公園利用者数<単位：100人>)							

3. 指定管理者の概要

指定管理者の名称等	《所在地》 諫早市宇都町27番1号
	《名称》 一般社団法人長崎県公園緑地協会 《代表者氏名》 会長 宮本 明雄
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日
業務	①施設（設備）の維持・修繕等 ②公園の管理運営に関する苦情等への対応及びその処理 ③公園利用に関し発生した第三者の事故等への対応（第三者への賠償を含む。） ④アンケート調査等により利用者の満足度、意見等を把握する業務 ⑤公園内で災害が発生した場合の緊急措置対応 ⑥公園の利用促進、公園を利用するスポーツの普及及びイベントの企画等に関する業務 ⑦貸与備品の保守・管理に関する業務 ⑧その他都市公園の管理運営に関する業務で、基本協定により長崎県が実施すると定めている業務及び基本協定に定めがない業務で長崎県と指定管理者が協議して指定管理者が実施すると決定した業務
利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 導入済 <input type="checkbox"/> 未導入 <input type="checkbox"/> 選定方法 <input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	① 公園利用者数（平戸公園）		（目標値の根拠） 直近3カ年度実績の平均値 を目標値とする。	＜元年度実施における変更点＞				
	② 公園利用者数（田平公園）							
	③ 有料公園利用者数（田平公園のみ）							
	④ 管理瑕疵による事故発生状況							
		実 績		平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	平成29年度 （実績）	平成30年度 （実績）	令和元年度 （計画）
			単位					
	①	a	目標値	189,019	189,811	190,696	194,278	192,681
		b	実績値	193,839	191,921	197,074	189,049	
		c	達成率b/a	%	102	101	103	97
	②	a	目標値	176,131	169,419	189,630	201,080	212,850
		b	実績値	185,793	203,310	214,136	221,104	
		c	達成率b/a	%	105	120	112	109
	③	a	目標値	27,680	28,225	29,825	31,400	30,949
		b	実績値	31,023	31,120	32,057	29,670	
		c	達成率b/a	%	112	110	107	94
④	a	目標値	0	0	0	0	0	
	b	実績値	0	0	0	0		
	c	達成率b/a	%	100	100	100	100	
指定管理者の収支状況	事業計画（H30）		平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	平成29年度 （実績）	平成30年度 （実績）	令和元年度 （計画）	
		（千円） 実績-計画						
収入	利用料金	2,059	1	2,013	2,017	2,065	2,060	1,970
	県負担金	38,536	1	38,571	38,570	39,537	38,537	37,594
	その他	206	361	558	564	568	567	660
	計a	40,801	363	41,142	41,151	42,170	41,164	40,224
支出b	40,801	-253	40,095	40,075	41,398	40,548	40,224	
	うち人件費	7,544	1,133	7,813	7,551	8,749	8,677	8,495
収支a-b	0	616	1,047	1,076	772	616	0	
配置職員数（人）	常勤1	常勤	常勤1	常勤1	常勤1	常勤1	常勤1	
	非常勤1	非常勤	非常勤1	非常勤1	非常勤1	非常勤1	非常勤1	

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したものとしては、「2 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

5. 平成30年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の状況	計 画	実 績	
	検 証		
	<p>園内の清掃及び施設の点検・維持管理、植生の保育及び維持、有料公園施設の利用許可及び運営について、実施計画に基づき確実に実施され、公園の安全で快適な利用サービスが提供された。また、管理瑕疵による事故はなく目標を達成している。一方で、公園利用者数（平戸公園）及び有料施設利用者数については、平戸海道渡海人祭の来園者数が大幅に減少したこと、及び2年に1度開催される田平町民体育祭が開催年ではなかったことなどにより、目標を達成することができなかったが、積極的にイベントや大会の開催・協力をを行い、公園来園者を増加させるための対策が図られた。</p>		

<指定管理者実施分>

- ① 日常巡視、定期巡視、特別巡視の実施は平成30年度実施計画書に記載の計画により実施する。
- ② 維持・管理作業は平成30年度実施計画書に記載の計画により実施する。
- ③ 防犯対策・事故防止対策は、平成30年度実施計画書に記載の関係マニュアル等に基づき実施する。
- ④ 事故等の緊急対応は、平成30年度実施計画書に記載の危機管理対応図により対応する。
- ⑤ 平成30年度実施計画書に記載の研修を実施又は受講する。
- ⑥ 公園の有効活用のため、各種自主イベントを実施する。

<県実施分>

- ①公園施設長寿命化計画更新
- ②休憩施設改修
- ③遊具改修
- ④園路補修

<指定管理者実施分>

- ① 平成30年度事業計画書に記載の実施工数のとおりに実施されている。
大雨・台風時には特別巡視を行い、県に対して適宜状況報告を行った。
- ② 平成30年度事業計画書に記載の実施工数のとおりに実施されている。
- ③ 管理者が定める「施設点検マニュアル」、「遊具点検マニュアル」、「施設保全マニュアル」等により点検などを行うと共に、日常巡視の際は迷惑行為・禁止行為がみられる場合に注意指導を行なった。また、夜間の巡視は警備会社に依頼し、防犯対策を行った。事故防止対策として、園内に入る管理者低速走行の励行及び工事車両が進入する場合の安全指導実施等を行った。イベント等で駐車場を使用する際は、専門の整理員を配置してもらうよう関係機関に依頼
- ④ 平成30年度に管理瑕疵による事故は発生しなかった。
- ⑤ 所内安全管理講習会の実施。田平公園展望休憩所において消防訓練に参加。遊具の安全に関する講習会受講。
- ⑥ 次のような事業を実施した。
 - ・ 県立田平公園さくらまつりを開催、バルーンパフォーマンスやダンス、ライブ演奏など各種ステージイベント等を実施した。
 - ・ グランドゴルフ大会の実施
 - ・ 光のフェスタ2018(主催)期間中にミニ門松、しめ縄づくり体験教室実施
 - ・ 「春・夏・秋・冬 平戸・田平公園を撮り尽くせ！フォトコンテスト」(主催)の実施
 - ・ 保育園児に大根堀りの野外体験学習(主催)
 - ・ 平戸海道渡海人祭り(後援)
 - ・ 釣り大会(協力)
 - ・ 田平公園にて音楽イベントを実施
 - ・ 各種ボランティア団体と提携し、花壇を計画的に整備

<県実施分>

- ①公園施設長寿命化計画更新
- ②伐採工
- ③木柵設置等

収支計画・実績

<指定管理者実施分>

(単位：千円)

主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等
収入 a	40,801	41,165	
うち利用料金収入	2,059	2,060	
うち県負担金	38,536	38,537	
うちその他収入	206	567	イベント収入等の増加
支出 b	40,801	40,548	
うち人件費	7,544	8,677	植栽や樹木管理の充実による増加
うち賃金	12,012	9,384	臨時作業・トイレ清掃作業の外注による減少
うち修繕費	7,500	7,547	
収支a-b	0	617	

収支の状況

<県実施分>

検 証

収入増加の要因は、イベント開催に伴う収入が増加し、その他の収入が増加したことによるものである。
 支出については、植栽や樹木管理を充実させるため、長崎県公園緑地協会からの職員の派遣により人件費が増加したものの、臨時作業、トイレ清掃作業を外注したことにより賃金が減少したこと、及び維持管理作業で発生する草や剪定枝等を堆肥化して肥料の購入費を抑制したことにより、減少となった。
 以上により、収入が支出を上回った。

指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価

A

(説明)

事業計画書に記載されている各事業が確実に実施されているため、管理・運営による利用者サービスが向上しており、指定管理者制度の導入結果を踏まえた平戸公園・田平公園の設置目標は達成されているものと認められる。

6. 令和元年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容

- イベント内容の充実
 - ・各種イベントの継続開催及び、新たなイベントの誘致により来園者の増加につなげる。
- 情報発信の充実
 - ・HPやSNSを更に充実させ、市の行政無線でイベントの広報を行う。
 - ・旅館、ホテル等と連携し合宿の誘致・PRを行う。
- 園内施設の整備
 - ・施設、設備等の確実な点検を実施し、安全性・利便性の高い状態に整備することで来園者の増加につなげる。
- 経費の削減
 - ・園内で花苗を育成するとともに、北松農業高校が生産した安価な花苗購入することで経費の削減につなげる。
 - ・記念植樹の募集を継続して行い、老朽化した樹木の更新にかかる経費の削減を図る。
 - ・伐採した枝を公園内山林の落石防止材として利用する。
 - ・イベント準備にかかる作業工数を見直し、経費削減につなげる。
 - ・平戸公園周辺の剪定作業の範囲を拡大し周辺を明るくする事により、イノシシ被害対策のための養生費を削減する。

7. 令和元年度事業の評価

	視点	評価	判定理由
指定管理者の行う管理運営等に関する評価	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a	管理運営に関する各種マニュアルに基づき実施する計画である。
	・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a	公共予約システムによる有料施設運用を行う計画である。
	・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a	職員に各種研修を受講させるなど、資質の向上を図り、サービスの向上に努める計画である。
	・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a	作業などマニュアル化されている。また、緊急時の対応体制整備も適切である。
	・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a	競技団体への働きかけを行い、有料施設の利用促進を図る計画であり、多目的な使用を促進する計画となっている。
	・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a	イベント時にボランティアスタッフを増員すること、枝葉を堆肥にリサイクルするなど、コスト削減が図られている。
	(その他の観点) ※評価区分 (a : 行われている b : 一部行われていない c : 行われていない)		

	視点	評価	理由	
施設の在り方についての評価	必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている	来園者数は昨年度より減少となっているものの、ほぼ横ばいで推移しており、本公園における県民等のニーズは薄れていない。
		・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない	当公園は、希少な公共空間及び競技施設（有料）並びに遊戯施設を併せ持ち、地域のニーズに応える施設である。
		・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	■ a. 適当（可能）でない b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である	県立都市公園は、ひとつの市町の住民の範囲を超えた広域の利用をされる公園と位置づけて整備している。
	効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない	来園者数は昨年度より減少となっているものの、ほぼ横ばいで推移しており、本公園における県民等のニーズは薄れていない。
		・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる	従来に比べても、十分な活動結果が得られている。
	有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない	イベントの誘致や大会の開催に協力し、県民等に交流の場を提供できている。
・事業効果をさらに上げる余地はないか。		■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある	利用者数の増加を図るため、ホームページの施設案内をさらに充実させ、情報を発信していくよう努力する。	
	(その他の観点) 田平公園は、ドクターヘリの離着陸場所としても利用されており、周辺地域の防災や救命活動を行う上で重要な施設である。			

8. 令和2年度事業の実施に向けた方向性

区分	■ 現状維持	改善	移管	廃止
(説明：2年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容)				
<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの継続開催及び更なる内容の拡充を図り、利用者の増加につなげる。 ・HP、SNSによる情報提供を充実させ、イベント情報や施設の状況を発信し利用者の増加につなげる。 ・イベントに関しては、新聞チラシ、市の行政無線で情報発信を行い、利用者の増加につなげる。 ・日々の巡回や定期点検を徹底し、安心、安全で快適な公園をつくることで、利用者サービスの向上につなげる。 				